2021.10.17. 最も偉大な預言

Mac 牧師

おはようございます。JD 牧師の代講です。ここカルバリーチャペルカネオへのライフ配信・礼拝へようこそ。日曜日は 2 つの礼拝をしていて、第一礼拝は「聖書預言・アップデート」に捧げ第二礼拝は「聖書の学び」に捧げます。その方法は、御心なら来週、私たちの牧師と共に再開します。私も JD の戻りを楽しみにしています。しかし、今日は 2 つの学びを行います。どちらも話題性のある説教です。最初の学びは、「イザヤ書 7 章 14 節」の 1 節を見ていきます。可能であれば、今朝の聖句を読むためご起立ください。そして一緒に祈りましょう。では、「イザヤ書 7 章 14 節」です。神の御言葉をお読みします。

イザヤ　7

14 それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。

祈りましょう。主にこの学びに祝福をお願いしましょう。愛する天のお父様。何があっても、いつも共にいてくださることを感謝します。今朝は、ここであなたが特別な方法で、私たちに出会って下さる事をお願いします。よく知られている一節ですが、主よ、私たちにあなたがここから豊かな知識をもたらし前進できるよう祝福くださいますように。主よ、どうか私を冷静にしてください。あなたの御言葉が実りあるものとなり、私があなたの邪魔になりませんように。あなたにお捧げするこの時間をどうか祝福ください。救世主イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

どうぞご着席ください。ありがとうございます。今朝の学びを「最も偉大な預言 」と題しました。間違いなく、少なくとも私の中では、救世主が処女降誕する預言に匹敵する預言は他にありません。その意味するところは宇宙全体への影響です。一つの誕生がすべてを変えます。このたった一つの聖句から、その聖書箇所を通し、神の御言葉がいかに素晴らしく、誰にも責められることのないものであるかを示せるよう祈ります。それを聞く耳、受け取る心を持つあらゆる人に。そこから始めます。クリスチャンとは何かという視点は、相変わらずピンからキリまで、律法主義や分らないようなものまであります。悲しい事です。心が痛みます。私たちは、イエスがなぜ来られたのかという根幹そのものを奪っています。たったひとつの御言葉だけです。みんなで考えてみませんか？　私たちが公言するクリスチャンなら、たったひと言であり、そのひと言は”真理”です。全てのものの真理です。真理を語り、真理に関わり、何が真理かを指摘し、偽りのものに屈しない、これがクリスチャンとしての私たち一人一人の理解でなければなりません。私たちの信仰に関してこのような歪んだ信仰観を根絶するには、これが唯一の方法です。人間には主観的な理由がたくさんあります。私たちは、絶対的な真理である神の御言葉に立つべきです。それが私たちの信仰であり、私たちが絶対的な真理を持っているからといって、誰よりも優れているということではありません。私たちは誰しも、欠点があります。少なくとも、それには同意できます。先週も少しお話ししましたが、もう一度言います。私たちは攻撃されています。考えてみてください。聖なるレベルを見て、それから私たちを見てください。私たちは皆、何かの悪癖を持っています。ある種の依存症、怒りの問題、憤怒など、数え上げればきりがありません。どんなに自分が良いと思っていても、何年も前からどんな風に自分を鍛えても、この思考の中に、時に何が飛び込んでくるかは分かっています。敵は常にあなたに、邪悪なことを語ります。私たちは皆、肉にいるので、救われていても、罪はこの世に存在します。しかし、神は。問題に対する解決策、全ての答えを与えてくださっています。神はおられます。しかし神は唯一、たったお一人です。神は、真の生ける神であり、愛を定義する愛の神です。そ

れが私たちの神です。私たちがどんなことをしてきたとしても、神は私たちのためにご計画を持っておられます。それが愛です。もし、私たちが主の仰ることに耳を傾け、受け入れるなら、私たちが不完全であっても、神は私たちをお見捨になりません。また「イザヤ書 1 章 18 節」に記されています。神の御言葉をお読みします。

イザヤ　1

18 さあ、来たれ。論じ合おう。――主は言われる――…

この声明を考えてください。

…たとえ、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとえ、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。

問題は、再び罪です。それが私たちが不完全である理由です。しかし、贖い主を信じることで、すべての罪が取り除かれます。そしてその信念は、神の御言葉に相対して、神と一緒に論じることから生まれます。これが鍵です。聖書からの論拠です。このことが、聖書の中で実際に示されています。聖書に匹敵する書物は他にありません。「使徒の働き 17 章 2 節 3 節」神の御言葉をお読みします。

使徒の働き　17

2 パウロは、いつものように人々のところに入って行き、三回の安息日にわたって、聖書に基づいて彼らと論じ合った。

パウロが何をしたのか。

3 そして、「キリストは苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならなかったのです。私があなたがたに宣べ伝えている、このイエスこそキリストです」と説明し、また論証した。

キリストとは、油を注がれた者という意味です。そういう学びの教会では、主の下へ来たばかりの人々のことをまた主を求めている人でさえ、時に忘れているのではないかと感じます。ただ忘れてしまうのです。というのも、私たちは基本に立ち返って、この御言葉を覚え、全ての人が受け入る方法で教えなければならないからです。時折人々は尋ねます。「すべて順調なのに、なぜ神が必要なのか？」一方、別の人々はこう言います。「すべてが悪い状況なのに、なぜ神を信じられるのか？」これらは実際に、人々が持ち寄る質問や問題です。私たちは、その忠実な証人でなければなりません。問題は神ではなく、サタンと罪だと示さなければなりません。これが現実です。この学びを進めていく中で、これにアプローチした時、私はこんな風です。「主よ、私が何を言うのを望んでおられるのですか？」

進めながら、何軒か電話をかけ、そして、読み始めまると、主がこの聖句を示唆下さいました。私には励ましの御言葉です。始める前に簡単にご紹介しますね。「詩篇 19 篇 14 節」です。神の御言葉をお読みします。

詩篇　19

14 私の口のことばと　私の心の思いとが　御前に受け入れられますように。　主よ　わが岩　わが贖い主よ。

教壇に立って説教をするのはとても難しいことです。簡単じゃありません。すべての人を満足させることはできませんし、すべての人を満足させようとすべきではありません。これで思い出しました。私の言葉は、主の御目に適う言葉でなければならない。それが、”一人の聴衆に向かって説教する”というフレーズに繋がる点です。だから、イエスのこととなると、人々はイエスのことを十分に分っていると思ってしまうことがありますが、そうではありません。なので、今日はこれを言わば、単純化したいと思います。

簡単に言うと、イエスは神で、人になられた永遠の御父で、全世界の罪のために死んでくださった神の子です。少し分かりにくいですか？　私たちは聖書を使って論証します。ところで、初代教会は、聖書をどうやって理解していたのでしょうか？　彼らはどの聖句を根拠にしていたのか？　旧約聖書です。ですから、今日はそこから始めます。そこから、父なる神と、子なる神の永遠の一体性をお見せしましょう。よく知られている聖句、再度、イザヤ書からです。
毎年、クリスマスにはこの言葉を口にし、皆さんそれをよく知っています。「イザヤ書 9 章 6 節」神の御言葉をお読みします。
イザヤ　9
6 ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、…
その意味をご存知ですか？　千年王国が、彼の肩の上にあるということです。
…その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。
ここで私が強調したことが分かりますか？　その質問は、多くの皆さんが尋ねたり、尋ねられたりしたことがあると思われる単純なものです。その質問は、「どうやって子を永遠の父と呼べるのか？」「どうしてそんなことが可能なのか？」「これはタイプミス？」「聖句が間違ったのか？」
答え：その御子は永遠に、御父と一体だからである。
それが私たちのイエスなのです。これがどこで分かるのか？　聖書聖句の中でのみです。ところで、聖霊（御霊）、聖霊なる神は、「助言の霊」「御力の霊」「神の霊」「真理の霊」「命の霊」「預言の霊」などとも呼ばれています。それらはすべて、神のみが持ちうる永遠の属性です。それを土台にして、今朝の目的は、言わば、前に私が言ったことをそのまま実行することです。聖句からの論証は、人間が知れる唯一の預言書を垣間見ることです。繰り返しますが、聖書にあるすべての預言の中から、イエス・キリストの誕生を予告した預言は、そのための詳細な情報量、何千年にもわたる聖句を通しての連続性、人間の全歴史と同様、これは史上最大の預言です。本気で考えてみてください。理性あるあらゆる人が、これを聞けば、真の生ける神の愛を認識しながら、膝を屈めるでしょう。私のような欠点のある人間は、聖霊の力を信じます。神の御言葉の絶対的な偉大さを示すのを望み、この預言の絶対的な偉大さを示すため必要だからです。まず聖書を振り返って、少し文脈を説明します。また、同時に聖句の残りの部分とつながるいくつかの驚くべき事実をご紹介します。それでは、「イザヤ書 7 章 14 節」で読んだ通り、”それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。””それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。”その「あなた（がた）」とは、アハズ王のことです。木曜日の夜に、イザヤ書を学んでいますね。これは最初に話したとおりで、彼は神に反する王でした。これは最初に話したとおりで、彼は神に反する王でした。彼はモレクを崇拝していました。赤ん坊の殺害や生け贄を推奨していました。彼は異教に走り、自分の神を忘れてしまったのです。アハズは聞きたくなかったのに、この預言を語られました。事実彼は「何かしるしをください」とイザヤに求めるよう、頼まれていたのです。神はなさいました。神が預言者イザヤを通して語っておられることを証明するための色んなしるしです。そこで、アハズは聖書を使おうとしました。
「主を試みません。」（イザヤ　7：12）
いわば、説明責任を果たさなくて済むようにするためです。しかし、その預言はなお語られました。神の御霊によって続きます。お～失礼しました。これを戻します。"見よ。処女が身ごもっている。そして男

の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。”　アハズをはじめとする多くの人々は、この預言が成就するのを見ることはありませんでしたが、約 700 年後に成就します。この救世主の誕生について記した預言者はイザヤだけではありません。「ミカ書 5 章 2〜5 節」にも記されています。処女降誕については、まさにミカが語ったことで、聖句の中にそのヒントが隠されています。時間の都合上、すべてを見ませんが、聖書に基づき、この処女降誕は始めから、神のご計画であったことが分かります。始まりの書「創世記」までさかのぼります。良く知られている「(創世記) 3 章 15 節」、神の御言葉をお読みします。

創世記　3

15 わたしは敵意を、おまえと女の間に、おまえの子孫と女の子孫の間に置く。彼はおまえの頭を打ちおまえは彼のかかとを打つ。

これを何度読んだでしょうか。ここで強調しておかなければならないのは、種に関してです。JD 牧師は、毎回ここを見る際、このことに時間を費やしていますね。私は同じことをします。これが聖句の中に、「女の種」という言葉がある理由ですね。それは、神の声明によってであり、種とは本当は、子孫のことを言っているのではありません。これは、女性が種を持つことについて語っています。しかしどうやって可能なのでしょうか。女性の種？　なぜなら、生物学的に、女性には種はなく、卵があるのが分かっています。そうでしょう？　今の社会が努力しても、女性には種はありません。女性から生じる種はありません。これは、処女降誕の預言が成就するために、女性に与えられる唯一の種のことを指しています。起こった時のことを考えてください。この神のご計画は、人間が堕落した途端に発動しました。そのことを踏まえてください。人が堕落して、すぐにご計画が立てられました。神は人間に希望を与えずには置いておかれなかった。神は最初から、人間を救う道を作られました。技術的に、時が始まる前から。それは、リアルタイムでの愛の表現です。それが私たちを慰めてくれます。それが私たちの神のなさり方です。私が言った通り、女性には種がないので、この種は授けられなければならなかった。当時処女だったマリアが身ごもるために、聖霊の力によってこの種が与えられたことを私たちは知っています。この預言の成就は、「ルカの福音書 1 章 35 節」に記されています。お読みします。

ルカ　1

35 御使いは彼女に答えた。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれます。

これは、クリスチャンにとってはよく知られていることであり、少なくともそうあるべきです。しかし、多くの人はそれを信じていないようです。クリスチャンが、です。私は本当にショックを受けました。そうであってはならないと思います。しかし、正直なところ、私は以下のことを見つけました。イエス・キリストの処女降誕を信じるのは、公言するクリスチャンのうち、わずか 60%、6、0 です。皆さんの半分くらいに相当します。なぜそんなことが可能なのですか？　さらに言えば、聖書に書かれているこの記述を知りながら、信じず、自分をクリスチャンと呼ぶことができるのでしょうか？　どうかご理解ください。これは、何かに疑問を持っている人の話ではありません。そういうことではありません。これは、神の御言葉に信仰を持っていないことの表れです。以上。「ルカの福音書」を 37 節まで繰っていき、お読みします。

ルカ　1

37 神にとって不可能なことは何もありません。

下に繰ってください。そして、このように聖書に記されているのには理由があります。まず明確な理由

は、神にはどんなことでも可能だからです。神は、神が喜ばれる（御心に適う）ことは何でもしてくださいます。神が何でもできないのであれば、それは神ではありません。神はどんなことでも、すべてが御出来になります。私たちが仕える神は、全知全能、あらゆるところに偏在され、至るところに即存在なされる神です。神から逃れられるものは何もありません。神にとって不可能な事は何もありません。しかし、私たちの聖書のこの箇所に、この表明の記述があるもう一つの理由があると思います。以前同じような状況で、この種類の声明が行われていた箇所に戻ります。始まりの書、「創世記 18 章 13-14 節」に戻ります。神の御言葉をお読みします。

創世記　18

13 主はアブラハムに言われた。「なぜサラは笑って、『私は本当に子を産めるだろうか。こんなに年をとっているのに』と言うのか。

14 主にとって不可能なことがあるだろうか。わたしは来年の今ごろ、定めた時に、あなたのところに戻って来る。そのとき、サラには男の子が生まれている。

その息子がイサクです。主にとって、何か難しいことがあるでしょうか？　お聞きください。あなたがたの神に出来なくとも、私の神には出来ます。それが私の仕える神です。有限の神ではなく、無限の神です。今、私たちはこれまでの歴史の中で、最も重要な教会の岐路に立っていると思います。悲しいことに、世はすでに、聖書の神を嘲笑にしています。既に。しかし今、教会の中に、これまでに語られてきた最大の預言の最も意図された側面さえも信じないクリスチャンがいます。あなたが公言するクリスチャンで、この預言を拒否するなら、聖書全体を否定することになります。事実、あなたが公言するクリスチャンで、聖書のいくつかの部分を拒否するなら、全面的に否定すると言っているのと同じです。私たちは、聖書を部分的に完全に理解していないかもしれません。しかし 公言するクリスチャンとして拒否するのですか？　それを自分の仕事に重ね合わせてみると面白いですよ。技術マニュアルに書かれていることを忠実に守り、それを信じている筈でしょう。間違っていたとしても。「このネジを付けろと書いてある。よく知らなかったけど、でもそう書いてある。」私たちが、盲目的な信仰に従っていると言おうとする世の人々には、あなたがたが聖書を読んでいないからです。これは全く盲目的な信仰ではありません。言わせてもらえば、本当に理解できないものを、どうやって最後まで追い求める事ができますか？「本当に？それを引っ張り出したいの？」毎日のように外に出ると、理解できないことに従がっていますよね。特に、こんにち。それが本当の盲目的な信仰です。聖句ではありません。しかし、聖書に関して私が言いたいのは、聖書はとても純粋で、知識に満ち、神の英知です。紛れもない証拠が詰まっているからこそ、そう、私は信仰を持っています。私はそれを見て、理解できないことは、必要なときに神が与えてくださると信じる信仰を持っています。私は主の御言葉が実行されるのを見てきましたし、今も見続けていて、実現しています。実現します。素晴らしいのです。聞きたいのは、実際に聖書を読んでみたことがあるのですか？　人は…人とはこういうものです。人は最も無知なものに引き寄せられますよね？　だから彼らは、一番無知なことを公言している人を探すんです。それをニュースで見ますよね？　誰かにインタビューをして、「ブランシェさん…何があったんですか？」「ええ、そうなんです。君たち、知るべきだったね。」なぜこの男をテレビに出すのですか？　それが彼らのゲージです。読ませるのでなく、彼らが言うのです。「あ、これ見てください。」読まなくてもいい、となります。そういうことなのか、で終わり。それが世の中の仕組みです。とにかく、この素晴らしい処女降誕とともにイエスは、聖書の中に多くの詳細な記述を提供しておられ、詳細は、イエスの系図の中に含まれるほど確固たるものです。それを否定する

ことはできないし、見過ごすこともできません。だからそれが記述にあるのです。その中からいくつかをご紹介し、皆さんが祝福されることを祈ります。まずイエスは、アブラハムの家系から出なければなりませんでした。アブラハムには何が語られたのか？　神の御言葉が仰いました。神がアブラハムに語られたのは、

あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。（創世記　22：18）

どうやって可能なのか？　たった一人、イエスによって。彼の系統はアブラハム、イサクにならなければならなかったのです。そして、ヤコブを介して来なければならなかった。そして「創世記 49 章 8 節～10 節」で語られているのは、イエスは、ユダ族から来なければならなかった。「イザヤ書 9 章 7 節」に記されているように、イエスはダビデの家を治める王となる。どうか聞いてください。この中から、ダビデ王に至るまでのユダに注目したいと思います。さて、多くの方がご存知のように、ユダという名前は賛美を意味します。私たちの主である救い主は、まさに私たちの賛美の体現者です。ユダ族からも同様です。しかしこの血統は、神にしかできない方法でもたらされます。ユダについて、聖書の中でユダは、自分の義理の娘の嫁に夫を与えることを拒んだと言われています。彼は、既に二人の息子を失いました。その記述はよくご存知ですね。彼らは主の御目には邪悪だったので、神が彼らを殺されました。そして義理の娘（タマル）は？　彼女はどうしますか？　彼女が売春婦に変装すると、なんとユダがやって来たのです。（創世記　38：15-16 参照）彼らは関係を持ち、彼女は身ごもります。彼女は双子を産みます。その一人が、ペレツという名です。（創世記　38：29 参照）ここからが大変面白くなります。先ほどのペレツの誕生に関する話を踏まえて、このペレツは、婚外子であることが分かります。いわば、隠し子のようなものです。聖句が彼をそう記しています。聞いてください。どなたか婚外子だったり、婚外子を産んだりした人がいたら、このことで気を悪くしないでください。私たちは、これがまさに聖書の中で役割を果たしていることを理解する必要があるのです。だから、気を悪くしないでください。ここでは、聖書の話をしています。ですから、ペレツは非合法で生まれます。皆さん、付いてきていますか？　なぜなら、聖書では、これらの詳細が適用されると大きな意味を持つからです。これらは、否定できない証拠です。「申命記 23 章 2 節」に記されています。神の御言葉をお読みします。

申命記　23

2 不倫の子は主の集会に加わってはならない。その十代目の子孫さえ主の集会に加わることはできない。

一見すると、何でもないように見えます。こう気づくまでは。「ちょっと待って。神の御言葉によると、ペレツは婚外で生まれたんだ。彼の子孫は、10 代目まで主の集会に入ることができない。」神にしか御出来にならない通り、この 10 代目が、ダビデ王に属していました。このことは、ダビデ王がイスラエルを統治する約 400 年前にモーセが語ったものです。「マタイの福音書 1 章 1 節～6 節」に記されています神の御言葉をお読みします。

マタイ　1

1 アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。

皆さん、この繋がりが分かりますか？　聖書の設計が見えてきましたか？　3 節から、始めます。

3 ユダがタマルによってペレツ（1 代目）とゼラフを生み、ペレツがヘツロン（2 代目）を生み、ヘツロンがアラム（3 代目）を生み、

4 アラムがアミナダブ（4 代目）を生み、アミナダブがナフション（5 代目）を生み、ナフションがサルマ（6 代目）を生み、

5 サルマがラハブによってボアズ（7 代目）を生み、ボアズがルツによってオベデ（8 代目）を生み、オベデがエッサイ（9 代目）を生み、
すみません、誰か飛ばしてますかね？　※字幕が正　123456789...はい、あってますね。
6 エッサイがダビデ王（10 代目）を生んだ。
誰か飛ばしてしまいましたか？　ペレツを飛ばしたのですかね？　誰を飛ばしました？　4 代目？　皆さん、10 まで数えてくださいね。10、10 代目までです。聖書がいかに詳細に書かれているか。ダビデが、主の会衆に復帰しました。もはやペレツの非合法の縛りはありません。聖書に書かれているすべてのことは、私たちの学びのためにある、と聖書は語ります。そして、このような詳細は、私たちの信仰を高めてくれるはずです。イエス・キリストの系図には、私たちが見るべき別の詳細があります。「エレミヤ書 22 章 30 節」、神の言葉をお読みします。
エレミヤ　22
30 主はこう言われる。この人を『子を残さず、一生栄えない男』と記録せよ。...
今、神がおっしゃっているのは、当時のユダの悪王エホヤキムのことです。
...彼の子孫のうち一人も、ダビデの王座に着いて栄え、再びユダを治める者はいないからだ。
では、なぜこれが重要なのでしょうか？　答えは、ここで止まってしまうと大きな問題になるので重要です。ここで言われていること含めそれを考えてください。なぜなら、ダビデが 10 代目であって、主のもとに回復しましたが、今度は彼の血統が呪われてしまうからです。この血統の子孫は、誰ももうユダを支配することはありませんでした。エホヤキムから出るどんな人も、です。忘れてはいけないのは、ヨセフは、イエスの地上の父親であり、エホヤキムの子孫です。だから、ここですべてが終わってしまったら、イエスはダビデの家を治める王とは呼ばれなかったでしょう。しかし、神は。神の御言葉で、私たちに見せて下さっています。ご自分の御言葉に、どれだけ忠実であられるかを。イエスの系図は、ダビデの血筋から 2 つの経路で来ることになります。「マタイの福音書」の記述が、イエスの系図を示しています。
1 つは、ダビデの家、ソロモンとして知られるダビデ王の息子の一人によって。一方、「ルカ福音書」の記述では、イエスの血統は、ダビデの長子ナタンによってダビデまで遡るとされています。そのため、これに関しては、「ルカの福音書」に捕捉されている系図の内訳があります。非常に重要で、この詳細があることで 2 つの意味があります。これは、イエスが聖書に記されているダビデの王位の正当な継承者であることを示すだけでなく、なぜこの方が処女降誕でなければならなかったのかを示すものでもあります。表面的に考えてみると、ヨセフがその系図にいるなら、その血筋が途絶えます。どうやって彼がマリアと関係を持ち、イエスが王として統治することができますか？　分かりますか？「ルカの福音書 3 章 23 節」に記されている系図で、「ルカの福音書 3 章 23 節」に記されている系図で、
ルカ　3
23 イエスは、働きを始められたとき、およそ三十歳で、ヨセフの子と考えられていた。ヨセフはエリの子で、さかのぼると、
これは「ルカの福音書」の記述ですが、「マタイの福音書」の記述でイエスの系図は、
マタイ　1
16 ヤコブがマリアの夫ヨセフを生んだ。（キリストと呼ばれるイエスは、このマリアからお生まれになった。）
聖書の中の潜在的な対立を見るたび、その背後には祝福があります。なぜこんなことになったのか、それ

が最初の疑問です。それは、ルカの記述は、イエスの系図を、母親にさかのぼって書いているからです。一方マタイの記述は、イエスの系図を法的な父親にさかのぼって書いています。一方マタイの記述は、イエスの系図を法的な父親にさかのぼって書いています。ヨセフはマリアの夫として記載されており、イエスの父ではないことにも留意ください。それまでのどこの箇所でも、息子を産み、息子を産み、息子を産み、息子を産み、そしてここではマリアの夫となっています。皆さん、ついてきていますか？　聖書がいかに詳細に書かれているか。これは、「マタイの福音書」の記述です。その内容は、「ルカの福音」のヨセフの父親としての役割についての記述と一致しています。ですから、ルカは 3 章の 23 節でイエスの父親についてこう言っているのです。「ヨセフの子と”考えられていた。”」”考えられていた”というのは、訳すと、"法的に見なされていた”です。その続きに、「ヨセフはエリの子で、」とあり、なぜなら、ルカの記述は、マリアの血統に焦点を当てているのでこのエリというのは、マリアの父親で、つまりエリは、ヨセフの義理の父親です。そしてルカの記述は、アダムにまで遡り、キリストが全人類の贖い主であることを示します。預言されていた通りの正統な王位継承者が、呪われた血統ではなく、聖書で要求された通り処女から生まれました。聖書に出てくる名前を見てみると、どのように配置されているかで、物語が見えてくることがあります。それらをチェックしてみると、驚きの連続です。ここにこれがあり、そして何をなすのか？　ここに書いてあることが、本来なのだ、となります。変えてしまうと、順序が狂ってしまうのです。エリ（ヘリ）という名は、ギリシャ語、ヘブル語でエリです。”主はいと高き方”という意味です。マリアという名は、”後継者の反乱”という意味です。イエスという名は、もちろん”救い”という意味です。アダムという名は、”人間”という意味。ですから、それを見ると、こんな風にまとめることができます。主はいと高き方。しかし、彼らの反乱が人類に救いを求めた。それって驚きませんか？　神は聖書を通して、これをなさっているのです。これ以上の大きな愛はありません。皆さんもこのことを考えてみてください。イエスは、あらゆる人のために死なれた。あなたならどうするか考えてください。自分の家族の一人を殺した人のために死にますか？　自分の子どもに恐ろしい犯罪を犯したその人のために死ねますか？　誰のために死ねますか？　ほとんどの親は、子どものためなら死んでもいいと言うでしょうし、それは明らかです。多くの親は自分の人生を子どもに捧げます。中には恐ろしいことをしている人もいますが、彼らを愛しているから、彼らはただ共に働きを続けます。これが、神がご自分の子どもたちに対して思っておられることです。「イザヤ書 7 章 14 節」に戻ります。生まれてくる子が、インマヌエルと呼ばれることが書かれています。インマヌエルという名は、ヘブライ語で「神が私たちと共におられる」という意味であることは、多くの方がご存知でしょう。そしてこれがまさに、神の人、イエスがお生まれになった時に起こったことです。そしてこれがまさに、神の人、イエスがお生まれになった時に起こったことです。イエスはご自分の所に来られましたが、ご自分の所では受け入れられなかった。「マタイの福音書 1 章 23 節」、この預言が成就したことが記録されています。”インマヌエルがお生まれになる”しかし聖書預言は、多くの場合、二つの目的があります。二重の意味で成就します。その多くは神のご性質そのものを指していて、他に、神の御言葉に関する側面です。インマヌエル、その名はまさにそれを表しています。私たちはそれを、神が私たちと共におられるという観点から考えます。歴史的な観点から見ても、このことは、聖書の中でもよくわかります。非常に詳細に、神がご自分の民を扱われます。聖書が示す 3 つの特徴的なものです。遡り、「創世記 3 章 8 節」にこう書かれています。神の御言葉をお読みします。

創世記　3

8 そよ風の吹くころ、彼らは、神である主が園を歩き回られる音を聞いた。それで人とその妻は、神である主の御顔を避けて、園の木の間に身を隠した。
”インマヌエル”神は私たちと共におられる。最初から、神の被造物の前に。神は人間に直接ご対応され、私たちの神はその園におられた。それがイエス・キリストだったのです。イエスは、目に見えない神の体現です。父なる神、子なる神、聖霊なる神。三つの異なるご人格、一つの神です。（三位一体）それはまた別の学びですね。私が言いたいのは、神は、贖い主として誕生した時から、天に昇らるまで、人の間におられた事です。真の生ける神を信じるすべての人が、永遠に、インマヌエルを持つようになる最後の時が来ています。永遠に、主の御前から決して離れられません。これは、おそらく私が聖書の中で最も好きな箇所です。「ヨハネの黙示録 21 章 2 節～4 節」です。神の御言葉をお読みします。
ヨハネの黙示録　21
2 私はまた、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとから、天から降って来るのを見た。
3 私はまた、大きな声が御座から出て、こう言うのを聞いた。「見よ、神の幕屋が人々とともにある。神は人々とともに住み、人々は神の民となる。神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。
4 節、私の大好きな箇所です。
4 神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。以前のものが過ぎ去ったからである。
これは、”インマヌエル/神は共におられる”の最終的な成就です。真の生ける神を信じすべての人々のために。「イザヤ書 7 章 14 節」に記されたこの一節から他にも多くのことを得ることができます。皆さん、今日ここで何かを見て、それを黙想し、持ち帰り、また私たちへの学びと励ましのために持って来て、教えて下さることを祈ります。聖書がいかに唯一であるかを認識することはとても重要です。素晴らしいし、本当に夢中になるべきだと思います。私たちは、本当に時間をかけて勉強し、主との時間を過ごすべきです。他のどんな書にも預言はありません。預言書を持っているとあなたが思っているなら、その条件を知る必要があります。預言書を持っているとあなたが思っているなら、その条件を知る必要があります。ノストラダムスは勘弁してください。それをここに持ってこないでください。預言は 100%正確で詳細なものでなければならず、曖昧なものではいけません。「私は預言することができます。」って？　私は今日、雨が降ることを預言します？　ー(笑)ー　ハワイですよ。それは何の預言ですか？これが、これまで人間に見せられ、語られてきた最大の預言です。『イエスは救い主であり、すべてへの答えです。』
次の第二礼拝では、主の御心なら、「イエスは第二のアダム」という話しをします。一種の、実際前置きですが。そして、礼拝の終わりは、「救いの ABC」で締めくくる予定です。　しかし次の礼拝まで待たなくても、主イエス・キリストを自分の主、救い主と信じ今日、選ぶことができるのです。イエス・キリストの証は預言の御霊ですから、皆さんも主に目を向け、救われることをお勧めします。ご起立ください。祈りましょう。
永遠のお父様。主よ、あなたがこのメッセージを用い私たち全員に与えて下さることを祈ります。私たちが、あなたの御言葉に本当に飛び込み、そこからすべての宝とあなたの知識の豊かさを得るよう励ましてくださいますように。私たちの贖い主であるあなたをもっとよく知ることができますように。あなたの御言葉のより良い管理人となり、あなたを知らない人たち、あなたの下へ来たばかりの人たち、また経験豊富な人であっても彼らの証人となれますように。私たちは皆、学び続けることができるのです。です

から主よ、多くの人が励まされ、それが聞けないことがないよう、あなたが最も力強い御言葉で、頑なな心を砕いてくださるように祈ります。あなたの御力で私たち一人一人の前を進み続けてくださるようお願いします。救世主イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ
http://www.calvarychapelkaneohe.com/
Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii　　筆記 hukuinn7